

2026 年 10 月 15 日

各 位

会社名 フラー株式会社
(コード番号：387A 東証グロース)

東急株式会社「common」が 2026 年度のグッドデザイン賞を受賞 ～フラーがデジタルパートナーとして共創～



フラー株式会社（本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：山崎 将司、以下「フラー」）と東急株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：堀江 正博、以下「東急」）が共創する東急の地域コミュニティアプリ「common（コモン）」がこのほど、2026 年度のグッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しましたのでお知らせします。

「common」について



common は 2021 年 3 月にサービスを開始した、全ての人が街に関わることができるサービスです。近年、住民間の互助の必要性が高まっていますが、これまでの街づくりは自治体、企業、一部の住民が担うものでした。そこで、現代のライフスタイルに合わせた、街との関わりの体験をデザインすることで、全ての人が街に関われ、互助の循環を作る新しい街づくりを実現します。

common 公式サイト：

<https://www.common.tokyu.co.jp/>

デジタル・アナログの両面から common を支える



フラーは common の構想段階から東急を支援。アプリの企画、デザイン、開発、運営、グロースとあらゆる場面で東急に伴走してきました。

ご参考：フラー・2021 年 3 月 30 日付ニュースリリース

フラー、デジタル領域で東急を支援

地域共助プラットフォームアプリ「common」を共同開発

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000277.000005362.html>

フラーが大切にしているのは、現地に足を運びユーザーの声に耳を傾けながら共創していくことです。

アプリの構想・企画段階でプロジェクトメンバーは東急のメンバーとともにリリース当初からサービスを展開している二子玉川の街を実際に何度も歩き、アプリの内容や目指す方向を議論。時には 1 週間に渡りフラーの主要メンバーが二子玉川に滞在し、エンジニア・デザイナー・ディレクターといった職種を問わず全員が“当事者”として街の散策やユーザーヒアリングを重ね、住民の方々の声やニーズを集めました。

さらに地域コミュニティづくりの成功事例を学ぶため、地域活動が盛んなエリアで視察合宿を実施。地域の方々の意見交換やディスカッションを行いながら、「common」の将来的な方向性について東急と共に思いを馳せる機会を積極的に設け、企画のさらなるブラッシュアップに取り組みました。

こうして開発された「common」は当初は、二子玉川駅周辺エリアに住む人・働く人をメインターゲットにサービスを開始。コミュニティ機能はもちろんのこと、不用品の譲渡機能や生成 AI を活用したニュース配信機能など新たな機能の追加もし続けています。エリアについても東急線沿線のほか、各地に拡大しています。

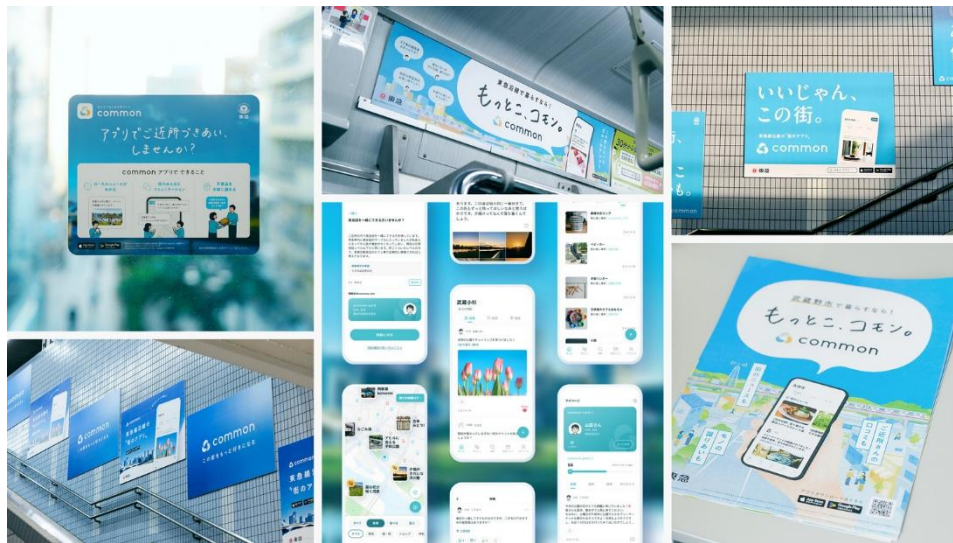
ご参考：フラー・2026 年 6 月 25 日付ニュースリリース

東急の地域コミュニティアプリ「common」、AI を活用したニュース配信機能を追加

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000521.000005362.html>

フラーは東急線各駅で掲示する common のポスターや車内広告、チラシなど PR に必要なさまざまな制作物のデザインも担当。デジタルに留まらない幅広い支援を展開し、“ワンチーム”で common を支えてきました。

今般のグッドデザイン賞の受賞を契機に、フラーは東急とともに「common」のさらなる成長を強力に推進する所存です。



グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

東急沿線という行動範囲をうまくアプリケーションの設計と連動させた。自治体と連動した目安箱や譲渡機能など、まちづくりや課題解決につながる機能が強く評価された。地域コミュニティアプリは、ネットワーク効果が限られてしまうために、一般の SNS に比べてユーザー数や活動数を増やしていくことが難しい。本サービスは、エリアマネジメントとコミュニティを連動させることでその課題を解決させる高度な取り組みである。スタートアップと今後予定している新機能についても期待している。

プロジェクトメンバーの受賞コメント

東急株式会社

common 事業責任者・小林 乙哉

グッドデザイン賞を受賞できたことを大変光栄に思います。

私たちは、これからのまちづくりには、企業や行政だけでなく、街に暮らす一人ひとりの力が欠かせないと考え、common を立ち上げました。誰もが気軽に街とつながり、関わることで、街がもっと魅力的になっていく。そんな未来を目指しています。構想段階からこの想いを共有し、共に試行錯誤を重ねてきたフラーの皆さま、そして common を育ててくださっているユーザーの皆さまに心から感謝いたします。今回の受賞を励みに、これからも地域の新しい可能性を広げる挑戦を続けてまいります。

フラー株式会社

執行役員 CDO・櫻井 裕基

このたびの common のグッドデザイン賞受賞を、心より嬉しく思います。

common では、構想・企画・デザインから、ユーザーの手元へ届け広げていくところまで、幅広くデザインに関わらせていただいています。現場のメンバーは東急様、そしてその先のユーザーに常に寄り添い、ひとつひとつの体験をこだわり抜いてつくり上げてきました。

「人に寄り添うデジタル」を目指すフラーにとって、このプロダクトが評価されたことは、まさに「寄り添う」ことを体現できた証だと受け止めています。関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。

フラー株式会社

デザイナー・吉原 龍佑

common がグッドデザイン賞を受賞し、とても嬉しいです。東急様が common を通じて目指す未来について初めてお話を伺った時のワクワクは、今でも覚えています。その未来に向けて、東急様をはじめチームの皆さんと一緒に理想の体験を追求し続けてきました。ともに積み重ねてきたものがこうして評価されたことを誇りに思います。この受賞を励みに、より良いモノづくりができるよう、これからもデザインと真摯に向き合っていきます。



common を手がけるフラーと東急のプロジェクトメンバー

グッドデザイン賞について



GOOD DESIGN AWARD 2026

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

2026 年度グッドデザイン賞のウェブサイト：<https://www.g-mark.org/>

受賞ギャラリーcommon 紹介ページ：<https://www.g-mark.org/gallery/winners/37513>

フラーについて

フラーは「ヒトに寄り添うデジタルを、みんなの手元に。」をミッションに掲げ、フラーが持ちうるすべてのプロフェッショナル領域でアプリやウェブなどデジタルにかかわる支援を行う「デジタルパートナー事業」を積極的に展開しています。

新規・既存事業の戦略構築からプロダクト開発・グロースまで“ワンチーム”で伴走。「デジタル領域全般で頼られる存在」として顧客に寄り添い、課題解決や事業成長に貢献しています。

柏の葉本社と新潟本社の二本社体制で、それぞれの地方の特長を最大限に活かした経営により、中長期的な成長を目指しています。

ご参考：フラー公式サイト・デジタルパートナー事業について

<https://www.fuller-inc.com/business>

会社名 フラー株式会社

所在地

【柏の葉本社】 千葉県柏市若柴 178 番地 4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 K01L

【新潟本社】 新潟県新潟市中央区笹口 1 丁目 2 番地 PLAKA2 NINNO

代表者 代表取締役社長 山崎 将司

設立日 2011 年 11 月 15 日

事業内容 デジタルパートナー事業

上場証券取引所 東京証券取引所 グロース市場（証券コード：387A）

URL <https://www.fuller-inc.com/>

<本件お問い合わせ先>

広報担当・日影 pr@fuller.co.jp